

キャンパスマスタープラン2016に基づき、2017年3月図書館改修を行い、1階フロアに多文化共生グローバルキャンパスの核として「マルチプラザ」を新設した。ラーニング・コモンズエリアやワークステーションルーム、男女共同参画エリア、ビブリオカフェ、屋外デッキなど、利用者それぞれの用途にあわせ使用できるエリアを提供し、年間入館者数は改修前の3倍を超える約20万人以上となった。

新しい図書館では人の流れを大切にし、館内と外部スペースを一体的な空間とするため、全開放可能なガラス戸を取り入れた。複数ある個室は、企業や地域の方などとの交流や、学習サポートルームとしても活用されている。



図書館HP

壁一面のホワイトボードを使い、学修する学生(マルチプラザにて)



三密対策の図書譲渡会にて、本を選ぶ学生



テーマを記載した「本の福袋」が並ぶ

2020年度コロナ禍において、新規利用者向けの図書館ガイダンスをMoodleの動画視聴に変更し、e-Learningを可能にした。留学生用の英語ver.は学生と協働で制作し、ナレーションは図書館アルバイト学生が担当した。

7月の不用図書譲渡会では三密回避のため、整理券を配布し、頒布時には学生優先日や20分の制限時間を設け、さらに対象図書のデータ管理や領収書発行のシステム化により、短時間での対応を可能にした。この取組は、学生等には安価な資料提供、図書館には書架スペースの有効活用、大学には不用図書販売による収入と、多くのメリットを生んだ。そのほか、様々な企画展示を実施しており、なかでも「本の福袋」については、利用者が館内で選書をしないことで、滞在時間を短縮しつつも読書を楽しんでもらえるよう工夫した。

今後も利用者の学修、研究およびコミュニティ形成をサポートするため、学術情報や居心地のよい空間を提供していく。